



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社W TOKYO 上場取引所 東
コード番号 9159 URL <https://www.w-tokyo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 村上 範義
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼経営戦略統括局長 (氏名) 藤本 冬海 TEL 03-6419-7165
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の業績 (2025年7月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	4,027	38.5	573	106.4	569	111.7	363	125.2
2025年6月期第3四半期	2,907	△8.9	278	△47.4	269	△48.3	161	△51.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	139.48	137.66
2025年6月期第3四半期	59.97	58.79

(参考)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	調整後営業利益		調整後四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	696	73.7	465	76.7
2025年6月期第3四半期	400	△38.5	263	△39.7

当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後四半期純利益を採用しております。なお、各指標については、後述の「※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項（サマリー情報の参考についてのご注意）」をご覧ください。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	3,686	1,934	52.5
2025年6月期	2,586	1,571	60.8

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 1,934百万円 2025年6月期 1,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,051	3.2	520	48.1	517	51.7	333	92.9	128.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	2,754,400株	2025年6月期	2,754,400株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	147,910株	2025年6月期	147,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	2,606,491株	2025年6月期3Q	2,692,398株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

（サマリー情報の参考についてのご注意）

当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後四半期純利益を採用しております。これらの指標は、当社の東京ガールズコレクションというブランド価値を活用した社会への価値提供の程度、また当社における経営の効率性を測るためのものとして適切であると考えております。

（調整後利益の計算方法）

調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額

調整後四半期純利益＝税引前四半期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用（※1）

※1 想定税金費用＝法人税等＋商標権償却額×実効税率（課税所得が発生する場合）

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間(2025年7月1日～2026年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境などの改善が緩やかな回復基調を支える一方で、中東やウクライナにおける紛争の長期化、諸外国の政策動向や物価上昇の継続などにより依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社では引き続きTOKYO GIRLS COLLECTION(以下、「TGC」という)のブランドを活かした独自のプロデュースノウハウを軸に、ヒト・モノ・コト・地域をさらに輝かせ、その価値を最大化していくことをミッションとして既存事業の深耕と収益基盤の多角化に注力してまいりました。

TGCプロデュース領域では、2025年9月に「第41回 マイナビ 東京ガールズコレクション 2025 AUTUMN/WINTER」、2026年3月に「第42回 マイナビ 東京ガールズコレクション 2026 SPRING/SUMMER」(以下、「TGC 2026 S/S」という)を開催し、協賛枠及び来場者チケットの完売等により当社の収益基盤として貢献しました。また、地方創生プロジェクトも活性化しており、当第3四半期累計期間においては、2025年10月「TGC KITAKYUSHU 2025 by TOKYO GIRLS COLLECTION」(福岡県北九州市)、2025年12月「ヒロマツホールディングス presents TGC HIROSHIMA 2025 by TOKYO GIRLS COLLECTION」(広島県広島市)、2026年1月「SDGs推進 TGC しずおか 2026」(静岡県静岡市)、2026年2月「Samsung Galaxy presents TGC in あいち・なごや 2026」(愛知県名古屋市の計4都市でTGCを開催しました。また、海外への市場拡大施策として、2025年7月に「Kao presents TGC Jakarta 2025」(インドネシア・ジャカルタ)、2026年3月に「Acecook presents TOKYO GIRLS COLLECTION in VIETNAM 2026」(ベトナム・ホーチミン)を開催し、ジャパンカルチャーの発信を行ってまいりました。

このほか、シティプロモーションとして「“さばえアクション∞” コレクション produced by TGC」(福井県鯖江市)、「EDOGAWA ストリートダンスチャレンジ 2025 supported by LDH JAPAN」「INTERNATIONAL SDGs FES in EDOGAWA 2025 supported by TGC」(いずれも東京都江戸川区)、「GAMA LOVE FES 2025」(愛知県蒲郡市)における「MIKAWA PALETTE produced by TGC STAGE」等を実施しました。この結果、TGCプロデュース領域の売上高は3,301百万円となりました。

コンテンツプロデュース・ブランディング領域では、イオンフィナンシャルサービス株式会社との事業提携による「TGC CARD」利用者の決済額等に基づくロイヤリティの受領、株式会社大創産業とのコラボレーション商品の開発に基づくロイヤリティの受領、「TGC teen 2025 Summer」「TGC KIDS フェス 2025」「TGC Night 2025」「TGC AUDITION 2026」の開催等、東京ガールズコレクションのブランド力やネットワークを活かし新たな価値を創造することにより収益基盤が多層化しております。当第3四半期累計期間においては、アーティスト・タレントのキャスティングとクリエイティブ制作を組み合わせた顧客商材のブランディング案件で比較的大型契約のサービス提供開始があった影響により、堅調に推移しております。この結果、コンテンツプロデュース・ブランディング領域の売上高は702百万円となりました。

なお、サービス領域別の状況は次のとおりであります。

サービス領域別売上高

サービス領域	2025年6月期 第3四半期累計期間		2026年6月期 第3四半期累計期間		2025年6月期 (前事業年度)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
TGCプロデュース領域	2,138百万円	73.6%	3,301百万円	82.0%	2,998百万円	76.4%
コンテンツプロデュース・ ブランディング領域	719	24.7	702	17.4	868	22.1
デジタル広告領域	49	1.7	23	0.6	57	1.5
合計	2,907	100.0	4,027	100.0	3,925	100.0

利益につきましても、人件費を中心とした制作原価の上昇要因を増収効果で吸収した結果、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも前年同期実績を上回ることとなりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高4,027百万円(前年同期比38.5%増)、営業利益573百万円(前年同期比106.4%増)、経常利益569百万円(前年同期比111.7%増)、四半期純利益363百万円(前年同期比125.2%増)となりました。

当社では、東京ガールズコレクションの売上規模が全体の売上に占める割合が大きく、開催月の属する四半期(第1四半期、第3四半期)に売上高及び売上総利益が偏重する傾向があります。一方で、販売費及び一般管理費は固定的に発生するため、営業利益も第1四半期及び第3四半期において比較的高くなる傾向があります。

また、当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後四半期純利益を採用しております。これらの指標は、当社の東京ガールズコレクションというブランド価値を活用した社会への価値提供の程度、また当社における経営の効率性を測るためのものとして適切であると考えております。

(調整後利益の計算方法)

調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額

調整後四半期純利益＝税引前四半期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用（※1）

※1 想定税金費用＝法人税等＋商標権償却額×実効税率（課税所得が発生する場合）

当第3四半期累計期間の調整後営業利益は696百万円（前年同期比73.7%増）、調整後四半期純利益は465百万円（前年同期比76.7%増）となりました。

当社は、ブランディングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載はしていません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して1,100百万円増加し、3,686百万円となりました。これは主に、2026年3月開催のTGC 2026 S/Sの開催等により売掛金及び契約資産が1,014百万円増加したほか、現金及び預金が111百万円、広告契約に関連した前渡金が112百万円それぞれ増加した一方で、商標権及びのれんが償却によりそれぞれ67百万円、54百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して736百万円増加し、1,751百万円となりました。これは主に、2026年3月開催のTGC 2026 S/Sの外注費等の買掛金が574百万円増加したほか、広告契約に関連した前受金が201百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して363百万円増加し、1,934百万円となりました。これは主に、四半期純利益363百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「(1) 当四半期の経営成績の概況」でも記載の通り、当第3四半期累計期間までに国内外における事業の進捗に加え、原価高騰に対する適切な価格設定等により、TGCプロデュース領域の売上が特に伸長しました。2026年6月期におけるTGC東京開催やTGC地方開催その他大型事業の収益計上は当第3四半期累計期間までに集中した一方、第4四半期会計期間（2026年4月から6月）においては、2027年6月期以降の持続的な成長に向けた事業基盤の整備及び受注活動に注力する期間と位置づけているため、収益計上は相対的に減速する見込みです。以上の状況を勘案した結果、業績予想については、2025年8月14日の「2025年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,844,498	1,956,426
売掛金及び契約資産	143,671	1,158,019
前渡金	51,115	164,010
その他	54,301	24,851
貸倒引当金	△26,649	△26,649
流動資産合計	2,066,936	3,276,658
固定資産		
有形固定資産	28,332	29,372
無形固定資産		
のれん	84,874	30,312
商標権	271,154	203,365
ソフトウェア	13,589	7,313
無形固定資産合計	369,618	240,992
投資その他の資産	121,116	139,031
固定資産合計	519,068	409,396
資産合計	2,586,005	3,686,054
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,541	673,864
1年内返済予定の長期借入金	112,260	112,260
未払法人税等	66,565	144,131
前受金	171,155	373,071
賞与引当金	18,708	10,064
その他	73,580	49,102
流動負債合計	541,812	1,362,493
固定負債		
長期借入金	472,870	388,675
固定負債合計	472,870	388,675
負債合計	1,014,682	1,751,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	246,056	246,056
資本剰余金	558,241	558,241
利益剰余金	1,035,944	1,399,508
自己株式	△268,919	△268,920
株主資本合計	1,571,322	1,934,885
純資産合計	1,571,322	1,934,885
負債純資産合計	2,586,005	3,686,054

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	2,907,444	4,027,402
売上原価	1,856,053	2,653,418
売上総利益	1,051,390	1,373,984
販売費及び一般管理費	773,251	800,029
営業利益	278,139	573,954
営業外収益		
受取利息	1,071	3,727
受取賃貸料	—	6,769
その他	1,179	1,123
営業外収益合計	2,251	11,621
営業外費用		
支払利息	5,408	3,178
投資事業組合運用損	3,797	4,921
賃貸費用	—	6,776
その他	2,029	912
営業外費用合計	11,235	15,789
経常利益	269,155	569,786
特別損失		
投資有価証券評価損	—	26
特別損失合計	—	26
税引前四半期純利益	269,155	569,759
法人税等	107,694	206,194
四半期純利益	161,460	363,564

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	82,901千円	83,696千円
のれん償却額	54,562	54,562

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ブランディングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載はしておりません。